

常に新に



白糸だより（舞鶴市立白糸中学校）
通算 1369 号平成 29 年 8 月 29 日発行
HP: <http://shiraito.maizuru.ed.jp>

1/100秒が心をつなぐ！

校長 秋原 栄人

連日の35度を超える暑さは峠を越えましたが、まだまだ暑い日が続いています。夏季休業中には、市内総体を皮切りに中丹総体、府総体等各種大会や吹奏楽コンクールが行われ、どのクラブも白糸らしさを発揮し、力を出し切ることができました。吹奏楽部は、夏のコンクール後もさらに演奏に磨きをかけ、20日にはチャリティコンサートを開催し喝采を浴びました。また、個人種目では、ソフトテニス部の松本・晶ペアが近畿大会に出場する活躍を見せてくれました。こういった活躍は、一朝一夕の練習で達成できるものではなく、保護者の皆さんや、地域の方々の温かい励ましの中、質の高い練習を意識してやってきた成果であると喜んでおります。今後とも御声援をよろしくお願いいたします。



さて、今年の夏もたくさんのスポーツ祭典があり、それぞれの競技で新たな感動やドラマが生まれました。私個人的には、ロンドンで行われた世界陸上に見入ってしまいました。中でも日本のお家芸ともいえる4×100mリレーの銅メダルは、直前のメンバー変更もある中での快挙で、リオオリンピックの銀メダルとはまた違った感動がありました。選手個人の走力では他国の選手の方が上回っていましたが、日本チームの卓越したバトンワークで、他国と比べロスタイムが少なかったことが銅メダル獲得の大きな要因であるといわれています。日本のリレーがお家芸だといわれるゆえんには、幼稚園時代から遊びの中でリレーが取り入れられ、運動会といえリレーが花形になる文化があります。1/100秒バトンを握り合う瞬間に思いを託し、個人種目のメダリスト相手に、工夫と練習で培った信頼感は、チームで戦うことの大切さを教えてくれました。行事の多い二学期です。クラスの絆、人と人とのつながり、感謝の気持ちを忘れず、チーム白糸として、他人と思いを共有できる瞬間を楽しんでもらいたいと思います。



いかりや長介が言っていた「宿題やったか？」の意味

夏休みも後半に差し掛かると、気になりだすのが宿題。休みを満喫するタイプだった私自身、親に叱られながら最終日にもつれ込んだことも一度や二度ではありません。昔と違って圧倒的に宿題が多くなっている中、この夏休みも終盤に慌てて追い込んだ人が多かったのではないのでしょうか。

先日の市民新聞に、「やる気と自信」という題で、学校の宿題の出し方について書かれた読者投稿の記事が載っていました。読んでみると、日々の学校の宿題の出し方（量や内容）を工夫して、「やる気と自信」を育ててほしいというような内容でした。やる気と自信を育てるという事に関しては全く同感でした。宿題として出した以上、やらせっぱなしはダメですし、その宿題の意味ややり方もしっかり伝えるべきです。家庭学習が学力に影響を与えることは言うまでもありませんし、まずは机に向かう姿勢を作ることが大切です。本校でも生徒会が中心となり、家庭学習時間の調査をして意識を高めています。しかし、ただ単に時間を費やしたらオッケーというわけではありません。何のためにやるのか、目的意識がないと意味がないと思っています。目的は大きく分けて二つあります。一つは、「予習復習いわゆる学力向上」です。これには正直、教師が創意工夫し、その子にあった内容を精選することや、具体的なやり方を提示して、自信をつけさせることが大切です。

もう一つは、「嫌なことでもやらなければならない時はやれる力をつける」ことです。学校というところは学力も含めて、生きる力、社会に出て通用する力を育てています。一步社会に出たら、自分が理不尽だと感じていても、やらなければならないこともしょっちゅうあります。言われたことをやるとする力を身につけておけば必ず役に立ちます。今になって思い出せば、「8時だよ！全員集合」でいかりや長介が毎週言っていた「宿題やったか？」は、嫌なことでも頑張ることが大切だぞと言いたかったのかもかもしれません。



入賞おめでとう

舞鶴市中学校総合体育大会

団体 剣道：女子団体 優勝 ソフトボール：準優勝
 バasket男子：準優勝 ソフトテニス男子：準優勝
 バレーボール：女子準優勝 バasket女子：3位 野球：3位
 個人 ソフトテニス男子：準優勝 白土・谷口組
 3位 木下・梅谷組、松本・晶組
 ソフトテニス女子：準優勝 鈴木・大島組
 剣道女子：3位 山中真凜

中丹中学校総合体育大会

団体 柔道：女子団体 準優勝 ソフトテニス男子：準優勝
 柔道：男子団体 3位 剣道：女子団体 3位
 バレーボール女子：3位 バasket男子：3位
 バasket女子：3位 ソフトボール：3位
 個人 柔道男子：81kg級 優勝 五十嵐祐弥
 66kg級 3位 泉田侑大
 柔道女子：52kg級 3位 新谷彩心
 52kg超級 3位 月原優莉
 ソフトテニス男子：3位 松本・晶組
 ソフトテニス女子：3位 鈴木・大島組



京都府中学校総合体育大会

個人 ソフトテニス男子：ベスト8（近畿大会出場） 松本・晶組
 水泳女子100m背泳ぎ、100m自由形 予選敗退 森兼晴陽
 水泳女子100mバタフライ 予選敗退 木船梨妙
 水泳女子200mバタフライ 決勝進出 9位 木船梨妙
 水泳男子100m平泳ぎ 決勝進出10位 井上慶次郎
 水泳男子200m平泳ぎ 決勝進出 6位 井上慶次郎

全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会

第8位(スナッチ60kg ジャーク51kg) 上羽大地

京都府中学生ソフトテニス研修大会

女子団体 準優勝(久平・田端・古川・宮川・齋藤・城谷)

第62回舞鶴陸上競技選手権大会

中学男子総合：3位 中学女子総合：準優勝
 中学走り高跳び：男子優勝 垣内 琉太 女子優勝 岩宗一花
 男子三段跳び：優勝 大井 涉
 中学砲丸投げ：女子優勝 大久保美海風 男子3位 瀬野歩夢
 男子200m：準優勝 川高雄 中学女子100m：準優勝 朝日心菜
 中学女子800m、女子3000m：準優勝(2種目) 塩見華音
 中学男子3000m：準優勝 湯守瀬斗
 男子400m：3位 木宮光之助 男子200m：3位 野村彩人
 中学女子4×100mリレー：3位 谷口・浜田・島木・西村

京都府吹奏楽コンクール オリオン 銅賞

中学生海の絵画コンクール 末次智実 佳作



いじめアンケートについて

認知件数	1年	2年	3年	合計
男子	1	10	3	14
女子	3	5	1	9
合計	4	15	4	23
解消数	4	15	4	23

6月に実施した生徒アンケートの集計

(注)

- 生徒が「困っている・嫌な思いをした」ことについて幅広く拾いあげています。
- 認知した事象は、担任・学年教師を中心に詳細な聞き取りと関係生徒への指導、その後の面談などを通して、全て解消しています。

【 23件の内訳 】

- 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる...20件
- 仲間はずれ、集団で無視される...1件
- 軽くぶつかられる、遊ぶふりをして叩かれる、蹴られる...1件
- その他...1件

< 8月・9月 行事予定 >

28日(月) 始業式 防災訓練
 29日(火) 給食開始 夢チャレンジテスト(国社数) 二測定(1年)
 30日(水) 夢チャレンジテスト(理英) 二測定(2年)
 31日(木) 二測定(3年)
 1日(金) 部活動停止(朝練可)
 2日(土) PTA保体部テント設置 10:00 部活可(3日も)
 4日(月) 二測定(6組)
 6日(水) 9/9(土)の振替休業日
 *部活は6日か10日どちらかはオフ
 9日(土) 体育祭(雨天順延)
 15日(金) 現地交通安全指導 校区一斉挨拶運動
 18日(月) 敬老の日 新人体育大会(野球)
 19日(火) タバコ学習(1年) アルコール学習(2年)
 20日(水) 夢講演会(全学年)
 23日(土) 秋分の日 新人体育大会
 24日(日) 新人体育大会(卓球)(野球決勝)
 25日(月) 薬物乱用教室(3年)
 27日(水) 職員会議
 28日(木) 中間テスト1週間前
 29日(金) ふるさとインタビュー(1年) 市実力テスト(3年)
 10/1(日) 資源回収 オリオン部敬老会に出演

< 新人体育大会会場 >

野 球：城南中 *決勝：舞鶴球場
 ソフトボール：和田中 陸 上：舞鶴高専
 ソフトテニス：東舞鶴運動公園
 バasketボール：東体育館
 バレーボール・卓球・柔道：文化公園体育館
 剣 道：青葉中学校第二体育館

第69回体育祭開催



< 体育祭スローガン >

『over the limit x friendship = 完全燃焼』

日 時 平成 29年 9月 9日(土) 9:20 開始
 場 所 白糸中学校グラウンド
 色分け 赤組：1の3・1の4・2の3・2の4
 3の2・3の4・6組
 青組：1の1・1の2・2の1・2の2
 2の5・3の1・3の3・6組
 テーマ 赤組「Festival」 青組「海賊」



パネル委員の活動



赤組のリーダー



青組のリーダー

善行表彰に3名が選ばれました。

- 長嶋裕也 君(3年)
 地域のバス停や通学路の雪かき、花いっぱい活動の援助、祖母の畑仕事の手伝いなど思いやりのある親切な行動を続けている。
- 上西諒介 君(1年)
 小学校高学年時より「あいさつ」「ありがとう」を交わす運動に尽力し、その重要性について社会へ訴える活動に取り組んだ。
- 緒嶋俊輔 君(1年)
 小学校高学年時に、つばめのひなを守る行動や交通安全を訴える活動に取り組み、命を大切にすることの啓発に努めた。